



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 長谷川 吉弘
 (氏名) 金城 照夫
 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 TEL 06-6201-2461

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,906	△11.3	443	△81.5	△215	—	△534	—
24年3月期第2四半期	37,079	84.9	2,395	106.9	1,662	43.8	1,011	128.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 301百万円 (△85.6%) 24年3月期第2四半期 2,090百万円 (467.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△20.61	—
24年3月期第2四半期	38.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第2四半期	61,804		29,689		45.9
24年3月期	63,428		29,581		44.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 28,380百万円 24年3月期 28,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	65,000	△9.1	770	△75.3	340	△84.3	△450	—	△17.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	26,080,396 株	24年3月期	26,080,396 株
25年3月期2Q	131,196 株	24年3月期	131,120 株
25年3月期2Q	25,949,210 株	24年3月期2Q	25,949,553 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	11
参考資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の債務危機や米国の財政緊縮の影響を受け、景気減速が先進国から新興国にも波及している状況です。

わが国の経済は、世界経済の影響を受け需要が低迷するなど厳しい状況が続いています。

当社グループを取り巻く経営環境では、欧州を主力市場とするローター社が、欧州景気の影響を受け、低迷いたしました。

その結果、当期の連結業績につきましては、売上高は329億6百万円となり、前年同四半期に比べ41億7千3百万円(△11.3%)の減収となりました。利益面では、営業利益は4億4千3百万円で、前年同四半期に比べ19億5千1百万円(△81.5%)の減益となり、また、為替差損6億3千5百万円があったため、経常損失は2億1千5百万円で、前年同四半期に比べ18億7千7百万円の減益、四半期純損失は5億3千4百万円となり、前年同四半期に比べ15億4千5百万円の減益となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次の通りです。

(樹脂化成品)

欧州の債務危機による世界景気の減速の影響を受け、印刷インキ用樹脂は、欧州地域および中国において非常に厳しい状況で推移しました。また、販売価格の下落により収益が悪化する結果となりました。国内においても、商業用印刷物の需要減少、新聞・書籍のデジタル化の影響により減少しました。

粘接着剤用樹脂は、国内外とも堅調に推移しました。

塗料用樹脂は、国内の震災復興需要、建築外装向け塗り替え用途で堅調に推移しました。合成ゴム用乳化剤は国内のエコカー減税の終了、新興国の景気減速の影響を受け、タイヤ生産量の低下に伴い、販売量がやや減少しました。

その結果、当部門の売上高は227億6千3百万円で、前年同四半期に比べ34億7千1百万円(△13.2%)の減収となりました。経常損失は4億6千4百万円(前年同四半期は経常利益22億2千8百万円)となりました。

(製紙用薬品)

国内の紙・板紙生産量、国内出荷量ともに前年比やや減少し、輸出においては大幅に減少しました。円高を背景とした景気減退による段ボール原紙の出荷減に加え、印刷・情報用紙を中心とした輸入が増加しました。国内製紙業界は依然として厳しい環境が続いています。

一方、中国の紙・板紙生産量は前年比で増加しましたが、段ボール原紙の生産量は欧州地域への輸出低迷の影響により減少しました。紙の生産量の伸びが鈍化する中、製紙用薬品の競合も激しくなりました。

その結果、当部門の売上高は60億4千6百万円で、前年同四半期に比べ4億5千4百万円(△7.0%)の減収となりました。経常利益は4億1千万円と前年同四半期に比べ2千7百万円(△6.2%)の減益となりました。

(電子材料)

当部門が関連する自動車業界の四輪車生産台数は、対前年同期比で上回ったものの、8月以降、輸出は減少しました。

一方、民生用電子機器業界の国内出荷台数は前年同期比を大きく下回りました。

海外関連会社に於いては民生用電子機器を生産している日系電気メーカーへの販売が振るわず、前年同期比大幅な減少となりました。

その結果、当部門の売上高は22億円で、前年同四半期に比べ1億5千3百万円(△6.5%)の減収となりました。経常利益は生産の更なる合理化を進めたことにより1億5千1百万円と前年同四半期に比べ1億1百万円(205.1%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は618億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2千4百万円の減少しました。自己資本比率は45.9%となりました。増減の主なものは、流動資産では現金及び預金が10億8千7百万円減少し、売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が7億7千9百万円減少しました。流動負債では借入金の返済により短期借入金が6億7千5百万円減少し、固定負債では長期借入金から1年内返済予定の長期借入金に振替えたため、長期借入金が8億9千8百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、欧州における債務危機の問題もあり、また、国内経済も円高により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する業界であります、印刷インキ・塗料・合成ゴム・製紙・自動車・電機業界におきましても、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、欧州市場を主力とするローター社の業績が低迷し、粗トール油の価格上昇に伴い、ハリマエムアイディ社の収益が減少するため、売上高、営業利益につきましては、前回の予想を下回る見込みとなりました。

また、経常利益、当期純利益につきましては、別途、本日(2012年11月2日)付で開示しておりますとおり、為替差損を営業外費用に計上することにより、前回の予想を下回る見込みとなりました。

なお、当期(2012年4月1日から2013年3月31日)の通期の業績予想につきましては、本日(2012年11月2日)付で開示しております「第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異、為替差損の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、2012年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,221,722	4,134,107
受取手形及び売掛金	18,650,875	17,871,442
商品及び製品	4,520,870	4,653,661
原材料及び貯蔵品	5,467,311	4,841,970
その他	2,240,297	2,840,509
貸倒引当金	△125,910	△123,165
流動資産合計	35,975,167	34,218,527
固定資産		
有形固定資産		
土地	10,460,346	10,476,113
その他(純額)	11,087,260	11,548,693
有形固定資産合計	21,547,607	22,024,807
無形固定資産		
その他	967,289	862,764
無形固定資産合計	967,289	862,764
投資その他の資産		
その他	4,953,534	4,713,008
貸倒引当金	△14,915	△14,915
投資その他の資産合計	4,938,618	4,698,093
固定資産合計	27,453,516	27,585,665
資産合計	63,428,684	61,804,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,412,430	7,500,285
短期借入金	9,082,882	8,406,909
1年内返済予定の長期借入金	1,633,768	1,583,025
未払法人税等	656,859	297,931
役員賞与引当金	60,440	33,760
その他	3,864,342	4,137,980
流動負債合計	22,710,724	21,959,893
固定負債		
長期借入金	7,482,242	6,583,313
長期預り保証金	1,065,469	983,339
退職給付引当金	886,915	870,649
役員退職慰労引当金	435,068	445,642
資産除去債務	45,439	45,745
その他	1,221,580	1,225,808
固定負債合計	11,136,715	10,154,498
負債合計	33,847,440	32,114,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	9,889,682	9,173,301
自己株式	△61,933	△61,975
株主資本合計	29,585,079	28,868,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,640	70,495
為替換算調整勘定	△1,560,538	△558,425
その他の包括利益累計額合計	△1,339,897	△487,930
少数株主持分	1,336,061	1,309,073
純資産合計	29,581,244	29,689,801
負債純資産合計	63,428,684	61,804,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年9月30日)
売上高	37,079,822	32,906,718
売上原価	29,358,358	26,635,041
売上総利益	7,721,464	6,271,677
販売費及び一般管理費	5,326,090	5,827,998
営業利益	2,395,373	443,678
営業外収益		
受取利息	17,398	22,204
受取配当金	29,988	29,782
不動産賃貸料	66,914	60,547
その他	60,944	107,618
営業外収益合計	175,246	220,152
営業外費用		
支払利息	242,217	196,032
為替差損	390,090	635,662
その他	275,573	47,325
営業外費用合計	907,881	879,019
経常利益又は経常損失(△)	1,662,738	△215,188
特別損失		
投資有価証券評価損	1,186	39,645
特別損失合計	1,186	39,645
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,661,551	△254,834
法人税、住民税及び事業税	593,361	214,812
法人税等調整額	△100,429	109,517
法人税等合計	492,932	324,329
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,168,618	△579,163
少数株主利益又は少数株主損失(△)	157,527	△44,428
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,011,091	△534,735

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,168,618	△579,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,366	△150,124
為替換算調整勘定	958,542	1,031,284
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△20
その他の包括利益合計	922,140	881,139
四半期包括利益	2,090,759	301,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,934,664	317,231
少数株主に係る四半期包括利益	156,094	△15,256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,661,551	△254,834
減価償却費	806,101	1,035,108
のれん償却額	35,129	44,105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	101,273	△2,224
受取利息及び受取配当金	△47,387	△51,986
支払利息	242,217	196,032
為替差損益(△は益)	367,125	644,743
持分法による投資損益(△は益)	15,214	△16,280
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,855	△23
投資有価証券評価損益(△は益)	1,186	39,645
売上債権の増減額(△は増加)	△2,784,362	869,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△803,354	613,743
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,358	26,361
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,770	△26,680
その他	396,659	△510,479
小計	△87,627	2,607,028
利息及び配当金の受取額	54,236	63,097
利息の支払額	△243,765	△217,521
法人税等の支払額	△233,375	△926,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	△510,532	1,525,701
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△935,241	△1,180,436
有形固定資産の売却による収入	3,036	28,891
投資有価証券の取得による支出	△53,396	△110,499
投資有価証券の売却による収入	250,000	318,723
貸付けによる支出	△3,100	△150
貸付金の回収による収入	787	898
その他	△156,362	△29,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△894,276	△971,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,688,713	△618,298
長期借入れによる収入	9,894,590	—
長期借入金の返済による支出	△309,501	△761,964
配当金の支払額	△207,596	△181,644
少数株主への配当金の支払額	△19,915	△17,213
預り保証金の返還による支出	△22,361	△82,451
その他	△20,506	△31,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,625,995	△1,693,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,547	51,952
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	181,638	△1,087,688
現金及び現金同等物の期首残高	5,957,958	5,217,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,139,597	4,130,196

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	26,234,566	6,500,796	2,353,814	35,089,177	2,025,133	37,114,310	△34,488	37,079,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,841	342,827	—	443,669	23,844	467,514	△467,514	—
計	26,335,407	6,843,624	2,353,814	35,532,846	2,048,977	37,581,824	△502,002	37,079,822
セグメント利益又は損失(△)	2,228,168	437,501	49,634	2,715,304	△92,179	2,623,125	△960,387	1,662,738

II 当第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (注2) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) (千円)
	樹脂化成品 (千円)	製紙用薬品 (千円)	電子材料 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に対する売上高	22,763,237	6,046,083	2,200,165	31,009,485	1,915,742	32,925,227	△18,509	32,906,718
セグメント間の内部売上高又は振替高	237,317	296,332	—	533,649	19,820	553,469	△553,469	—
計	23,000,554	6,342,415	2,200,165	31,543,135	1,935,562	33,478,697	△571,979	32,906,718
セグメント利益又は損失(△)	△464,951	410,490	151,422	96,960	△228,526	△131,566	△83,622	△215,188

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益または損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3) セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間(自 2012年7月1日 至 2012年9月30日)

(会社分割による持株会社体制への移行)

当社は、2012年5月21日開催の取締役会及び2012年6月27日開催の定時株主総会の決議を経て、2012年10月1日をもって当社の新設承継会社(完全子会社)として「ハリマ化成株式会社」を設立し、当社の樹脂化成品事業、製紙用薬品事業及び電子材料事業を承継させ、ハリマ化成株式会社は社名を「ハリマ化成グループ株式会社」に変更し、純粋持株会社体制へ移行しました。

1. 対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

①対象となった事業の内容

樹脂化成品事業、製紙用薬品事業及び電子材料事業

②企業結合日

2012年10月1日

③企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、当社は「ハリマ化成グループ株式会社」へ商号変更するとともに、新設する「ハリマ化成株式会社」を承継会社とする分社型新設分割

④結合後企業の名称

分割会社：ハリマ化成グループ株式会社

承継会社：ハリマ化成株式会社

⑤取引の目的を含む取引の概要

昨年度のローター社設立により、当社グループの売上高規模は2012年3月期で715億円となり、2011年3月期比で1.72倍へ拡大しております。特に、連単倍率については2.26となり、グループ会社の売上・収益貢献の比率が増しております。

さらに、今後の事業展開を展望すると、樹脂・化成品以外の事業分野拡大や、さらなるグローバル対応などが必要となり、その手段としてM&Aや現地法人設立などの実施によりグループ会社の増加や再編が想定されております。

このように、グループ企業規模及びグループ企業数が拡大する一方、現在のグループ経営については、従来どおりハリマ化成本体の組織で対応しており、内容及びリソース面からも見直すべき時期に来ております。

特に、グループ全体最適を見据えたグローバルな戦略策定が急務であるため、純粋持株会社による戦略を踏まえたグループ企業管理、資金・人材の適正配分を図ることが必要と考え、今回の会社分割による持株会社制への移行を決定いたしました。また、ガバナンスの推進と中立な観点での事業評価を実施してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

2013年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2012/3期		2013/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	8.2億円	24.6億円	13.0億円	20.0億円

2. 減価償却実施額

	2012/3期		2013/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	8.0億円	19.3億円	10.3億円	20.0億円

3. セグメント別売上高

	2012/3期		2013/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	262.3億円	499.2億円	227.6億円	444.0億円
製紙用薬品	65.0億円	132.3億円	60.4億円	124.0億円
電子材料	23.5億円	47.3億円	22.0億円	47.0億円
その他	20.2億円	36.4億円	19.1億円	35.0億円

4. 海外売上高

	2012/3期		2013/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	77.1億円	20.8%	63.8億円	19.4%
アジア	43.2億円	11.7%	37.8億円	11.5%
欧州他	85.1億円	23.0%	71.7億円	21.8%
合計	205.6億円	55.5%	173.4億円	52.7%